

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
地理歴史・日本史A	3	2	日本史A 現代からの歴史（東京書籍）	最新 日本史図表新版二訂（第一学習社）
科目の概要と目標	近現代史を中心とするわが国の歴史の展開を、世界史的な視野にたつて我が国を取り巻く国際環境と関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
序章 私たちの時代と歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・原始から近世の日本史 ・新聞記事から現代社会の課題について考えよう ・グローバル化がもたらす変化 ・国境・民族・宗教の壁を越えて 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントや年表を使い、中学までの既習事項を理解する。 ・現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的現象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義を理解する。 ・現在世界で起きている紛争について調べ、自分の意見を発表し班で討論することができる。 		
第1章 国際環境の変化と明治維新史	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀世界の動向と日本 ・開国と倒幕 ・明治新政府の諸改革と社会の変化 ・明治初期の外交と反政府運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命がもたらした経済・政治・国際関係の変化を理解させ、欧米列強のアジア侵略のあり方を考察する。 ・幕末の最終段階で、延命を図る幕府側と、武力倒幕を目指す倒幕派それぞれにどのような動きがあったかを考察する。 ・廃藩置県、四民平等、徴兵令、地租改正の特徴や制度の確立によって社会がどのように変化したのかを考察する。 ・明治政府が抱えていた外交的課題はどのようなものであり、どのように解決しようとしたのかを考察する。 		
第2章 近代国家の成立と国際関係の推移	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動の展開 ・立憲体制の成立 ・日清戦争と国際関係 ・日露戦争前後の世界と日本 ・他者の目で自国史を読む ・日本人の形成と国語 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動の発展と衰退について経緯を理解させ、自由民権運動がどのようなものであったかを考察する。 ・明治憲法の成立過程や憲法の内容を理解し、明治憲法下での政治機構の特色を考察する。 ・当時の朝鮮情勢をふまえ、日本と清が朝鮮にどのように関与したのか理解させ、日清戦争の原因・経過・影響について考察する。 ・日露戦争開戦をめぐって国内でどのような議論があったのか、戦争の経過と講和条約の内容を理解し、日本の勝利が国内外にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。 ・外国人が書いた歴史認識についての文章読み、個人の考えを出したり、班で話し合ったりすることで、多様な歴史認識に触れ、今後、自分たちがどのような歴史を作っていくのかを考察する。 		
〈主題学習〉 世界からのまなざし				
第3章 両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国日本と第一次世界大戦 ・政党政治と大衆文化 ・軍国日本への道 ・太平洋戦争と日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の民族自決の高まりの中で、日本が中国や朝鮮で民族独立運動に直面したことを理解する。また国際連盟の創設にみられるように、国際協調の推進が世界の大勢となったことを考察する。 ・デモクラシーの世界的な広がりの中で、学問、思想、教育、文学、芸術などの諸分野で、新しい業績や動きが見られたことを理解する。 ・恐慌の深刻化と中国での激しい民族運動に直面して、内政、外交ともに政策の行き詰まる状況下で、軍部・右翼が台頭し、軍拡や大陸侵略を目指す動きが起こった理由を考察する。 ・「大東亜共栄圏」の建設を唱えた太平洋戦争は、中国・朝鮮・東南アジアなどの民衆に対する搾取の上に展開されたこと、また我が国においても各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原爆投下など空前の戦禍を被ったことを理解し、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を自覚させる。 		
第4章 現代世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・日本の再建と復興への道 ・米ソ二極構造の世界と国内の再編 ・高度経済成長の時代 ・アジアからみた近代日本 ・学窓からのぞく植民地の風景 ・低成長から経済大国へ ・冷戦の終焉と日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が敗戦に至った過程と、敗戦後の占領政策がどのように始まったのかを、国内と国外の情勢を関連づけて理解する。 ・戦後の社会の混乱から、生活がどのように債権されていったのかを理解する。 ・日本の独立回復の過程について、朝鮮戦争やサンフランシスコ平和条約などの世界情勢を考慮しながら理解する。海外市場に向けた活動が展開されたことについて理解する。 ・高度経済成長期の日本の変化について、その前後の政策と関連づけながら理解する。 ・外国人が書いた歴史認識についての文章を読み、国や民族による歴史認識の違いについて考察する。 ・高度経済成長の終了を国際的経済環境の下で理解する。 ・日中国交回復と日中平和友好条約締結についての理解を深める。 ・石油ショック後の日本経済の回復と1980年代の政治について考察する。 ・冷戦の終焉と、冷戦後の世界情勢について考察する。 ・国内における55年体制の崩壊と、その後の政界の推移について理解する。 ・バブル経済崩壊後の日本経済と社会が抱える問題点について考察する。 ・現代の世界が抱える課題について理解させ、解決にむけて何が必要なのかを考察させる。 		
現代からの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・国境を越えた環境問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会や身の回りの諸課題（人権・環境・資源・エネルギー・食糧・国際貢献・紛争と平和など）について、関心のある主題を設定し、資料を活用して探究し、解決にむけた考えを表現することができる。 		